

診断群分類別患者数等

(診療科別患者数上位 5 位まで)

集計方法と定義

・診療科別に症例数の多いDPCコードの患者数、平均在院日数(自院)、平均在院日数(全国)、転院率、平均年齢を表にまとめたものです。

【消化器外科】

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	43	7.37	8.98	0.00	64.17
060330xx02xxxx	胆嚢疾患 (胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢摘出術 等	23	6.13	6.64	0.00	52.43
060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの等	19	7.79	9.88	0.00	39.11
060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	18	18.11	17.27	0.00	69.43
060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除 又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	17	17.24	15.61	0.00	72.80

解説

・DPC コードは治療内容、病態により複雑に分類されるため、K コードで分類された消化器外科手術とは内容が必ずしも一致するとは限りません。鼠径ヘルニア(15 歳以上)ヘルニア手術 鼠径ヘルニア定義副傷病なし(060160x001xxxx)については ヘルニア手術 鼠径ヘルニア(K6335)が短期滞在手術 3 に該当し、診断群分類別患者数(診療科別)の集計対象外となっております。

第 1 位の腸閉塞(060210xx99000x)は手術・処置の無い症例で、癒着性イレウスが 55.81%、術後イレウスが 30.23%、その他 13.96%となっております。第 2 位の胆嚢結石(060330xx02xxxx)は体腔鏡を使った低侵襲性の手術です。